

設問番号	(1) ～ (5)
解答又は 解答例	(1) 専門経営者の歴史的展開と経営史的意義について説明しなさい。 ➤ 「専門経営者」の定義を説明し，明治時代以降の日本においてこの種の人材の増加要因（政治的・経営的）を説明すること ➤ また専門経営者の必要性を，企業経営上の合理性をふまえ説明すること (2) 産業革命期の紡績業と製糸業の展開について説明しなさい。 ➤ 日本の重要産業であった紡績業と製糸業が，同じ繊維産業であるが異なる展開を見せたことを説明すること ➤ 例えば企業規模，使用機械の製造国や費用，原材料の産出国，労務管理形態などに注目し説明できること (3) 第一次世界大戦期の造船業の発展について，大戦の影響をふまえ説明しなさい。 ➤ 第一次世界大戦勃発による経営環境の変化が，企業経営に及ぼした影響を説明すること (4) 旧財閥と新興財閥それぞれの特徴と相違点について説明しなさい。 ➤ 2種類の多角的経営体について，それぞれの出現時期や進出分野，資金供給，多角化の手法などの相違点を説明すること (5) 企業集団の結成の過程について，GHQ の占領政策の影響をふまえ説明しなさい。 ➤ GHQ の占領政策が，戦後の旧財閥および傘下企業に及ぼした影響を説明し，ここから企業集団結成の過程を説明すること。 《参考文献》 ・宮本又郎・岡部桂史・平野恭平編（2014）『1からの経営史』，碩学舎。 ・宮本又郎ほか（2023）『日本経営史 第3版』，有斐閣。 ・ミネルヴァ書房『講座 日本経営史』シリーズ。 ・森川英正（1981）『日本経営史』，日本経済新聞出版。
出題の意図	（日本）経営史に関して，修士課程の学修に必要な基礎的知識の修得度合いを計るために，基本的な用語と関連事項を問うことを基本方針とし，一部に産業史的な出題を行った。産業史的な記述では，製造業のうち軽工業と重工業の代表的な産業について問う形式とした。